



DRUM TRIGGER MODULE

DTXPLODER

取扱説明書



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊙ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

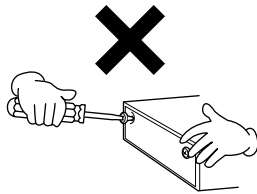
警告

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



DTXPLOER本体およびパッド類に水などの液体がかかった場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。水分が十分に乾くまでは使用しない。

感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合

は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、必ず指定のもの(PA-3C)を使用する。(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発熱、発火などの原因になります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



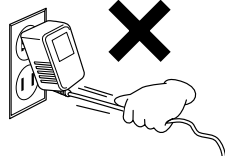
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



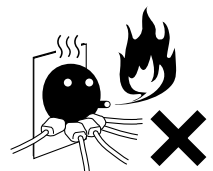
電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線をしない。

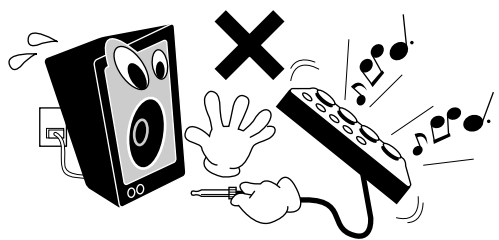
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



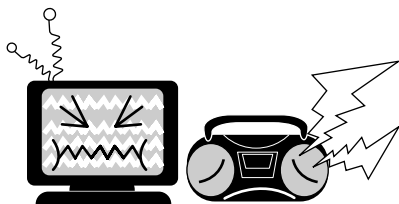
使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。また、電力エネルギーの無駄使いとなります。

- ❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



- ⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。
- ⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



- ⊘ 不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- ❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
- ⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ⊘ 指定のスタンド/ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。
- ⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



バックアップバッテリーについて

この機器はバックアップバッテリー(リチウム電池)が内蔵されていますので、電源コードがコンセントから外されても、内部のデータは記憶されています。バックアップバッテリーが消耗すると、LCD画面に“Battery Low”が表示されます。バックアップバッテリーがなくなると内部のデータは消えてしまいますので、データ、設定を記録のうえ、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にバックアップバッテリーの交換をお申し付けください。

- ⊘ バックアップバッテリーは自分で交換しない。
感電や火災、または故障などの原因になります。バックアップバッテリーの交換は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお申し付けください。
- ⊘ バックアップバッテリーを子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤ってバックアップバッテリーを飲み込むおそれがあります。

作成したデータの保存について

- ❗ 作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは記録をとることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

このたびは、ヤマハDTXPLOERERをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
DTXPLOERERは、高品位でバリエーション豊かなドラムボイスを備え、多機能メトロノーム
やソング機能も搭載したコンパクトなドラムトリガーモジュールです。
DTXPLOERERの優れた機能を十分にご活用いただくために、この取扱説明書をよくお読み
くださいますようお願い申し上げます。
また、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管
いただきますようお願いいたします。

表記について

本書では、次のルールでボタンや説明内容を表します。

- ・ [DRUM KIT]、[CLICK]など パネル上のボタンは、[] で囲んで表します。
- ・ [SHIFT] + [DRUM KIT]など [SHIFT] ボタンを押しながら [DRUM KIT] ボタンを押すことを意味します。
- ・ [◀]/[▶]など [◀] ボタンまたは [▶] ボタンを使うことを意味します。
- ・ “Completed!”など ディスプレイに表示される文字は、“ ” で囲んで表します。
- ・ →P. 12 など 参照ページを表します。

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや表示画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

同梱品について

DTXPLOERERには、以下のものが同梱されています。箱を開けたら、すべての付属品がそろっていることをご確認ください。

- ・ DTXPLOERER本体
- ・ 電源アダプター(PA-3C)
- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 保証書

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。
静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑を
かけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンを
ご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

DTXPLOERの特長

DTXPLOERは、コンパクトなボディにドラムトリガー機能、リアルで高音質な32音ポリフォニック音源、高機能メトロノーム、さまざまなジャンルのソングを内蔵したスーパーユニットです。
ライブパフォーマンスに、トレーニング用に、幅広くお使いいただけます。

■ ドラムトリガー機能

- ・ 9個のトリガー入力端子とハイハットコントローラー端子を装備。2ゾーンパッドへの対応はもちろん、3ゾーンパッドに対応した端子も装備しています。さらに、トリガーパッドだけでなくヤマハドラムトリガーDT20などにも対応しています。
- ・ パッドのトリガー入力タイプや感度などのセットアップデータを、プリセットで4パターン用意しました。プレイヤーの個性に合わせてシステムのキャラクターを選ぶことができます。また、DTXPLOERセット以外のパッドやドラムトリガーに合わせて設定した、カスタムセットアップを保存できるユーザー用メモリーも1パターン分用意しました。
- ・ ドラムキットはプリセット32セットを内蔵。アコースティックキットはもちろん、ロック、ファンク、ジャズ、レゲエ、ラテンパーカッションなど、さまざまなジャンルに対応したドラムキットをすぐにお使いいただけます。また、ユーザーキット用メモリーも10セット分用意しています。豊富なドラム/パーカッションボイスを自由に選びエディットして、オリジナルのドラムキットをセットアップすることができます。

■ 音源部

- ・ 32音ポリフォニックの高品位16ビットAWM2(PCM)音源を装備。
- ・ ドラム/パーカッションボイスを192種類内蔵。アコースティックのリアルなサウンド、個性的なエレクトリックパーカッションサウンド、効果音など、バリエーション豊かなサウンドをお楽しみいただけます。
- ・ 内蔵リバーブには、ヤマハGM/XG対応音源MUシリーズで定評のあるデジタルリバーブを採用。

■ 高機能メトロノーム

- ・ 音符の種類ごとに細かくクリックを設定できるメトロノームを搭載。
個々のクリック音に付いても音色やチューニングを自分で自由に設定することができます。またタイマーを設定してクリックの動作時間を決めたり、ブレイクを設定したりすることもできます。
- ・ パッドを叩くタイミングでメトロノームやソングのテンポを設定する“タップ機能”も装備。あなたの感覚でカウントを出してください。

■ 内蔵ソング

- ・ さまざまなタイプのソングを22曲内蔵(デモソング2曲、パターンソング20曲)。ドラムミュート機能やベースソロ機能(ベースのみの再生)など、トレーニングの強い味方です。

■ グループチェック機能

- ・ パッドを叩くタイミングの正確さとショットの強さ(出力レベル)をチェックするグループチェック機能を搭載。
正確なプレイのために役立つ機能です。

■ インターフェース

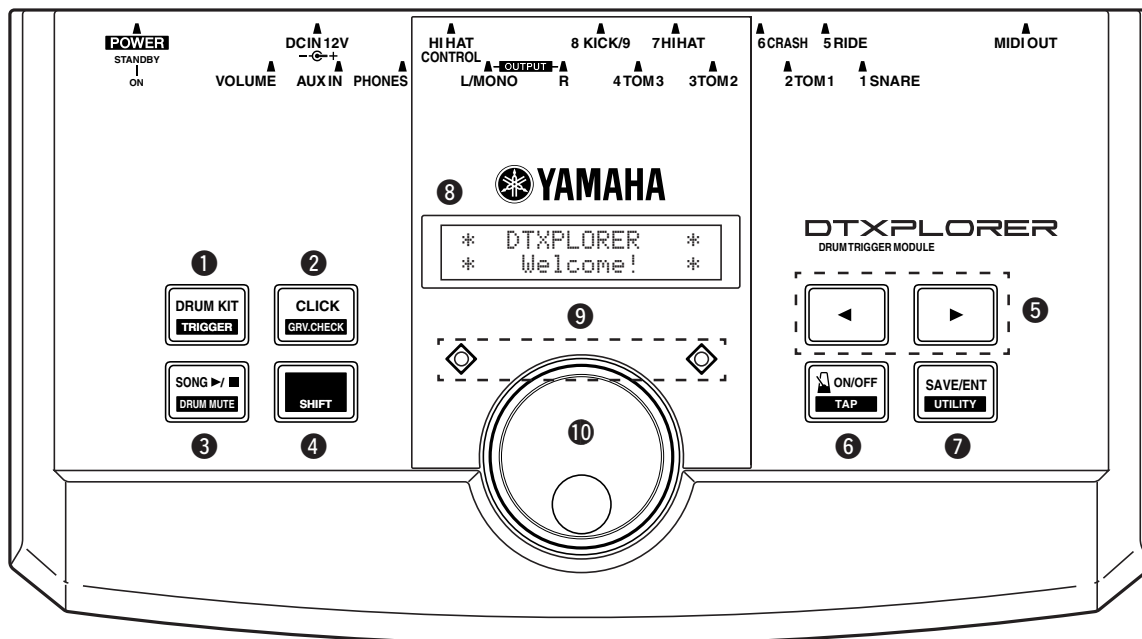
- ・ MIDI OUT端子を装備。外部音源を鳴らしたり、外部シーケンサーを同期させることができます。
- ・ AUX IN端子を装備。CDやMDなどの音楽に合わせて演奏することができます。
- ・ ヘッドフォン端子を装備。

目次

各部の名称と機能	7
トップパネル	7
リアパネル	8
音を出す準備(接続)	9
DTXPLOERERセットのパッドとの接続	9
アコースティックドラムをDTXPLOERERに接続するには	9
■ スピーカーやヘッドフォンの接続	10
■ 電源の接続	11
DTXPLOERERを叩いてみよう！	12
ハイハットの調整	13
メトロノームに合わせて演奏しよう！	14
クリックアウトセレクト	16
ソングと一緒に演奏してみよう！	17
タップテンポ機能	18
グループチェック機能を使ってみよう！	19
自分だけのドラムキットを作ろう！	20
ファクトリーセット	23
トリガーセットアップエディット	24
トリガーセットアップの切り換え	24
トリガーセットアップのエディット手順	24
エラーメッセージ一覧	28
故障かな？と思ったら	28
仕様	30
MIDIデータフォーマット	31
MIDI出力ノートナンバー	31
ディスプレイ一覧	32
MIDIインプリメンテーションチャート	34
ドラムボイスリスト	35
プリセットキットリスト	35
プリセットソングリスト	35

各部の名称と機能

トップパネル



① ドラムキットボタン(DRUM KIT)

- ・ドラムキットの選択画面に入ります。(→P. 12)
- ・[SHIFT]を押しながら[DRUM KIT]を押すと、トリガーセットアップの選択画面に入ります。(→P. 24)
- ・現在発音中の音を強制的に止めます。

② クリックボタン(CLICK)

- ・クリック(メトロノーム)の設定画面に入ります。(→P. 14)
- ・[SHIFT]を押しながら[CLICK]を押すと、グループチェックの設定画面に入ります。(→P. 19)

③ ソングボタン(SONG >/■)

- ・ソングの選択画面に入ります。(→P. 17)
- ・[SHIFT]を押しながら[SONG >/■]ボタンを押すと、再生中のソングのドラム音だけを聞こえなくすることができます(ドラムミュート機能)。
- ・ソングのスタート/ストップを行ないます。

④ シフトボタン(SHIFT)

このボタンを押しながら各ボタンを押すことで、ボタンが別の機能に切り替わえます。

⑤ セレクトボタン(< , >)

- ・このボタンを押してエディットする項目を選択(点滅表示)します。表示ページの前後にも項目がある場合は、ページを移動して表示します。ボタンを押し続けると、点滅位置が連続して移動します。
- ・エディット対象を選択できる画面では、[SHIFT]を押しながら[<]/[>]を押すことで、選択できます。

⑥ メトロノームON/OFFボタン(ON/OFF)

- ・メトロノーム(クリック音)のスタート/ストップを行ないます。(→P. 14)
- ・[SHIFT]を押しながら[ON/OFF]を押すと、タップテンポの設定画面に入ります。(→P. 18)

⑦ セーブ/エンターボタン(SAVE/ENT)

- ・コマンドの実行(エンター)やデータの保存(セーブ)を行ないます。
- ・[SHIFT]を押しながら[SAVE/ENT]を押すと、DTXPLOTOR 全体の設定を行なうユーティリティモードに入ります。
- ・ソング画面ではソングのスタート/ストップを行ないます。

⑧ LCDディスプレイ

DTXPLOTORを操作していく上で必要な、情報やデータが表示されます。

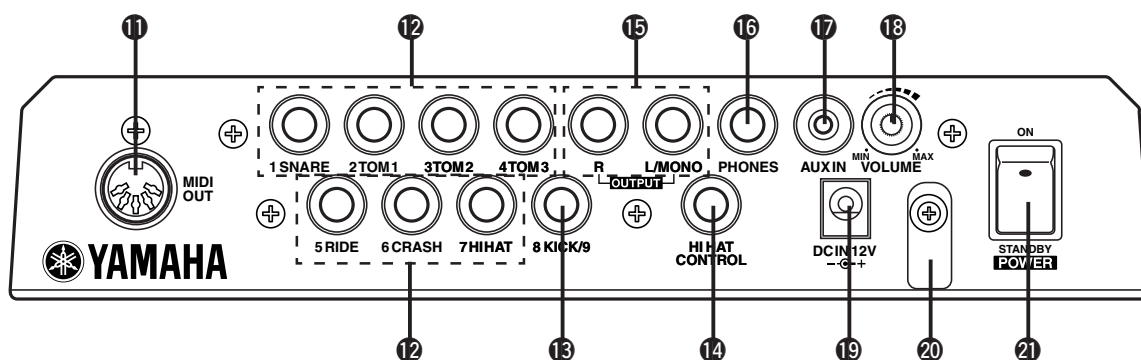
⑨ クリックランプ

メトロノーム(クリック音)やソングの小節先頭のタイミングで赤のランプが点灯し、それ以外のタイミングで緑のランプが点灯します。

⑩ ジョグダイヤル

画面上で点滅している項目(エディット対象)のデータを変更します。右方向(時計方向)に回すと数値増加、左方向で減少します。[SHIFT]を押しながら回すと、数値が10ずつ増減します。

リアパネル



11 MIDI OUT端子

DTXPLOERのデータを外部のMIDI機器に送信するための端子です。

DTXPLOERの演奏を外部の音源で鳴らしたり、DTXPLOERのソングやクリックに同期させて外部のシーケンサーを再生させたりすることができます。(→P. 11)

12 トリガー入力端子(1 SNARE～7 HI HAT)

パッドやトリガーセンサーを接続する端子です。スネア、タムなど、パネルに書かれたパッドを接続します。(→P. 9)

- 3ゾーンパッド対応 1 SNARE端子
- ステレオ(スイッチ付)パッド対応 5 RIDE、6 CRASH端子
- モノラルパッド対応 2 TOM1、3 TOM2、4 TOM3、7 HI HAT端子

13 トリガー入力端子(8 KICK/9)

キックパッドを接続する端子です。
キックパッドKP65を付属のステレオケーブルで接続することにより、KP65の外部入力端子を9番の入力端子として使い、モノラルパッドを接続できます。

14 ハイハットコントロール端子(HI HAT CONTROL)

ハイハットフットコントローラーを接続する端子です。(→P. 9)
* 接続には、ステレオフォンプラグ付ケーブル(下図)が必要です。



15 出力端子(OUTPUT L/MONO,R)

外部アンプやミキサーなどへ接続する端子です。
モノラルで出力する場合はL/MONO端子を使用し、ステレオで出力する場合はL/R両方の端子に接続します。

16 ヘッドフォン端子(PHONES)

ヘッドフォンを使用するときに接続する端子です。(→P. 10)

17 AUX IN端子

外部のオーディオ機器などの出力をこの端子(ステレオミニジャック)に接続します。(→P. 10)
CDプレーヤーなどの出力を接続して、CDの音楽に合わせて演奏することができます。

* 本体との音量バランスは、CDプレーヤーなどの出力機器側のボリュームで調整してください。

18 マスターボリューム(VOLUME)

DTXPLOER全体の音量(OUTPUT端子およびPHONES端子の出力)を調節します。
時計方向に回すと音量が大きくなり、反対方向で小さくなります。

19 電源端子(DC IN 12V)

付属の電源アダプターを接続します。
電源アダプターが抜け落ちないように、コードをフック②に巻き付けておいてください。

20 コードフック

誤ってコードが抜け落ちないようにコードを巻き付けておく場所です。(→P. 11)

21 電源スイッチ(POWER)

本機の電源スイッチです。

音を出す準備(接続)



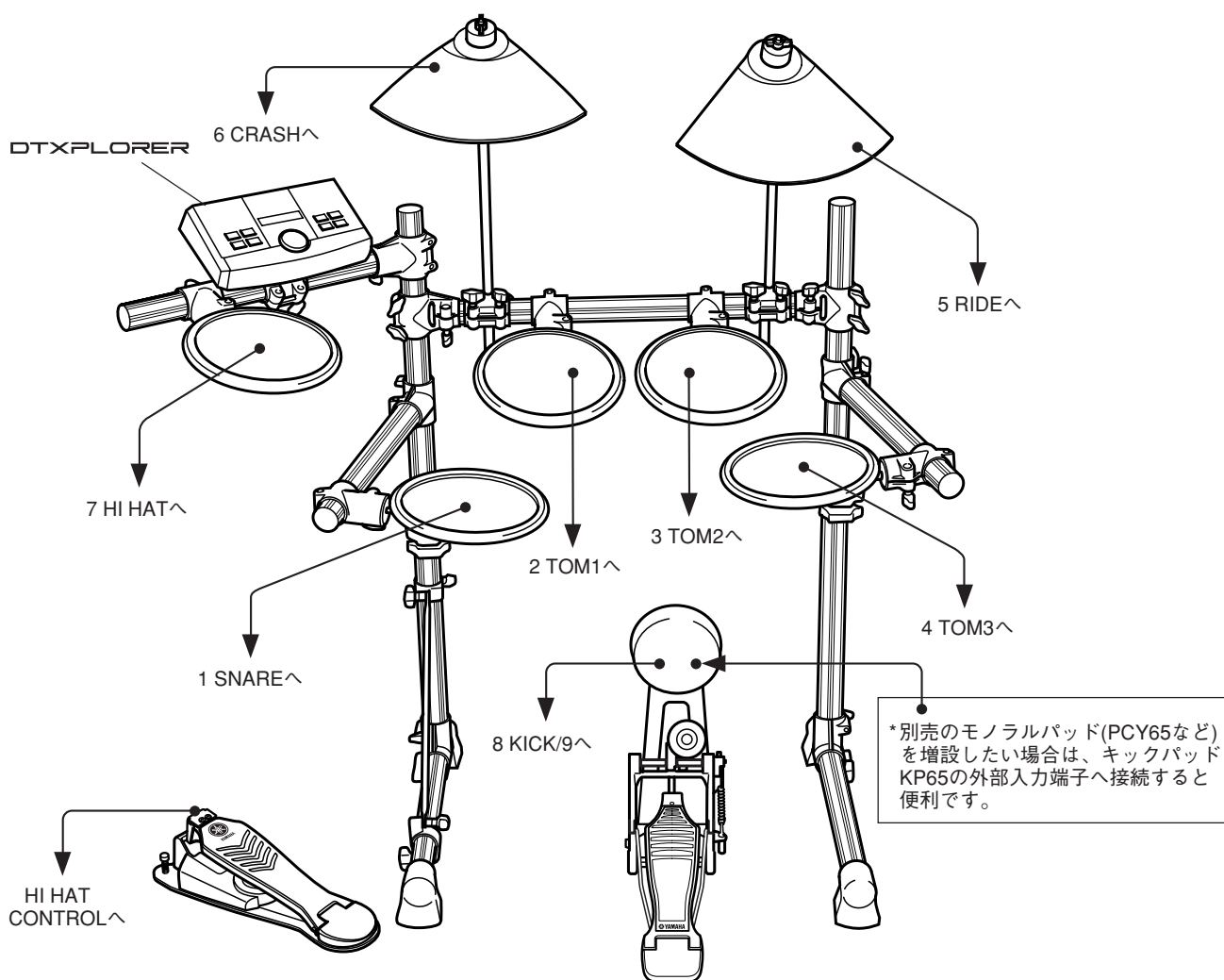
DTXPLOERの各入出力端子との接続は、感電と機器の損傷を防ぐため、必ずDTXPLOERおよび各機器の電源を切った状態で行なってください。

DTXPLOERセットの패드との接続

下の図を参考に、各패드からの出力ケーブルをDTXPLOERリアパネルの各トリガー入力端子へ接続します。

各トリガー入力端子には、それぞれ接続するパ드의名称が「1 SNARE」などと印刷されていますので、該当するパッドを接続します。

* トリガー入力端子の印刷(1 SNAREなど)の通りにパッドを接続している場合は、それぞれDTXPLOER側で最適な内部設定がされていますが、特性の異なるパッドやドラムトリガーを接続した場合は、「トリガーセットアップエディット(→P. 24)」操作により、感度などの調整を行なう必要があります。



アコースティックドラムをDTXPLOERに接続するには

別売のヤマハドラムトリガーDT20などをアコースティックドラムに装着し、ドラムトリガーからの出力ケーブルをDTXPLOERの各トリガー入力端子へ接続することで、アコースティックドラムをDTXPLOERの入力パッドとして使うことができます。

※ 接続後、DTXPLOER本体のトリガーセットアップの設定を切り換えてください。(→P. 24)

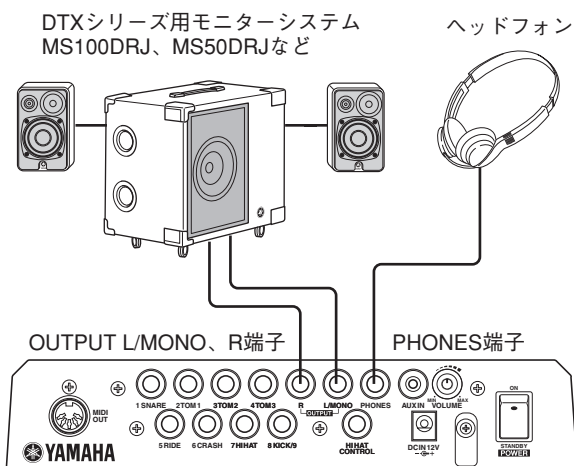
音を出す準備(接続)

● パッドの接続に関するヒント

- ・トリガー入力端子5 RIDEおよび6 CRASHは、ステレオ入力に対応しています。TP65S, PCY65S, PCY130Sなどのスイッチ付きパッドを接続することができます。
- ・1 SNARE端子には、TP65S, PCY150Sなどの3ゾーンパッドを接続することができます。
- ・感度の設定はトリガーセットアップエディットの「TRIG2 Type(パッドタイプ)」(→P. 25)で設定します。
- ・キックパッドKP65を付属のステレオケーブルで接続することにより、KP65の外部入力端子を9番の入力端子として使え、モノラルパッドを接続できます。

■ スピーカーやヘッドフォンの接続

DTXPLOERERにはスピーカーが内蔵されていません。音を出すためには、外部アンプ+スピーカー、ヘッドフォンなどを接続してください。

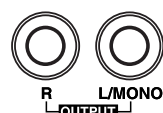


接続には、それぞれの機器の端子形状に適合したプラグを持つケーブルをお使いください。

● OUTPUT L/MONO, R端子(標準モノラルフォンジャック)

ミキサーやオーディオ機器を接続して外部スピーカーを鳴らしたり、録音機器を接続して演奏を録音したりすることができます。

* モノラル入力の機器を接続する場合は、DTXPLOERERのOUTPUT L/MONO側端子と接続してください。



● PHONES端子(標準ステレオフォンジャック)

ヘッドフォンの音量はリアパネルのVOLUMEつまみで調節します。



ヘッドフォンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないよう適度な音量に調節してお楽しみください。

● AUX IN端子(ステレオミニフォンジャック)

AUX IN端子に接続したCDプレーヤーなどからの出力を、DTXPLOERのサウンドにミックスして出力させることができます。好きな曲と一緒に演奏したり、仲間とバンド演奏を楽しみたいときなどに便利です。



DTXPLOER本体との音量バランスは、CDプレーヤーなどの出力側ボリュームで調整します。

● MIDI OUT端子

MIDIの機能を使って、DTXPLOERの演奏を外部の音源で鳴らしたり、DTXPLOERのソングやクリックに同期させて外部のシーケンサーを再生させたりすることができます。

MIDI(ミディ)とは

MIDI(ミディ)とは、Musical Instruments Digital Interfaceの略称で、楽器やコンピューターを接続して演奏情報や音色情報などをやりとりするために作られた、世界統一の規格です。この規格に準拠した楽器やコンピューターであれば、メーカーや楽器の種類が違っててもデータをやりとりすることができます。



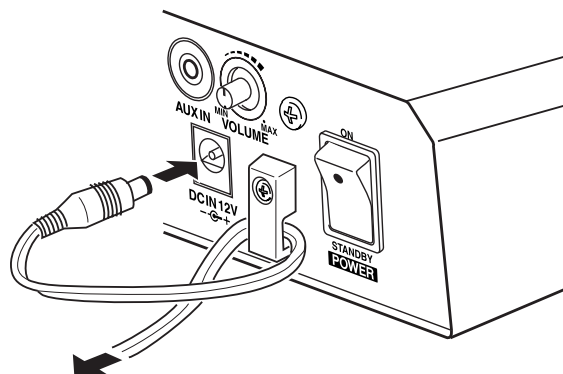
MIDIケーブルはMIDI規格のものをお使いください。また、MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルの使用は、誤動作などトラブルの原因となります。

■ 電源の接続

DTXPLOERは、専用電源アダプターで動作します。

本体の電源スイッチがオフになっていることを確認し、付属の電源アダプターをリアパネルのDC IN端子に接続します。

電源アダプターのコードが抜け落ちないようにコードフックに巻き付けて固定します。



コードフックに巻き付ける際、電源アダプターのコードを極端に折り曲げないでください。コードの断線や発火の原因となります。



電源アダプターは必ず付属の物をお使いください。他の電源アダプターをご使用になりますと、誤作動や故障の原因となります。

また、長時間ご使用にならない場合は、電源アダプターをコンセントから外してください。

電源を入れる前に

- ・ 電源を入れる前に、リアパネルのVOLUMEを左いっぱい(音量最小)に絞っておきます。電源ON時にスピーカーやヘッドフォン、DTXPLOERに過大な信号が流れないようにするためです。
- ・ DTXPLOERに接続している外部機器の電源は、まだ切った状態にしておきます。DTXPLOERの電源を入れた後で順次入れていきます。

DTXPLOERを叩いてみよう！

接続を終わりDTXPLOERを目の前にしてウズウズしているあなた！
それでは、パッドを叩いてDTXPLOERのサウンドを聴いてみましょう。

1. 電源を入れる

パッドや周辺機器などの各機器が正しく接続されていることを確認したら、リアパネルのPOWERスイッチをONにします。

お買い上げ後、初めて電源を入れた場合は、以下の画面が表示されます。

```
* DTXPLOER *  
* Welcome! *
```

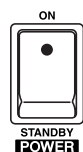
パッドを数回叩いた後、電源を入れ直すと、初めて電源を入れてからパッドを何回叩いたかのトータル数をカウント表示します(ヒットカウンター機能)。

- * ファクトリーセット(→P. 23)を実行すると、ヒットカウンターは0にリセットされます。

```
* DTXPLOER *  
* 5hits *
```

しばらくして、以下のようなドラムキットの選択画面が表示されたら準備OKです。

- * ドラムキットは、前回最後に選択していたものが選ばれています。
- * 他の画面が表示されている場合は、[DRUM KIT]を押してください。



```
KIT1 -----  
1 :Acoustic ▶
```

ドラムキット番号 ドラムキット名

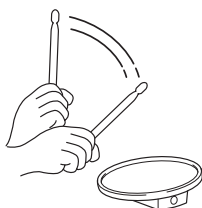


スピーカー保護のため、DTXPLOERの電源を先に入れ、その後ミキサーやアンプの順でオーディオ機器の電源をオンにしてください。

2. DTXPLOERを叩いてみよう

パッドを叩きながらリアパネルのVOLUMEつまみを少しずつ右に回していき、全体の音量を好みの大きさに調節しましょう。

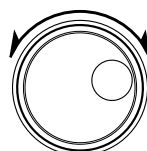
右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。



3. ドラムキットを変えてみよう

パッドを叩いた時に鳴る音色を、キットごと変えてみましょう。ドラムキット番号1～32には、厳選したプリセットドラムキットが32種類用意されています。

ジョグダイヤルを回してドラムキットを選びます。



```
KIT1 -----  
1 :Acoustic ▶
```

ドラムキット番号 ドラムキット名

いろいろなドラムキットを試してみて、気に入ったドラムキットを選んでください。

4. 音質を調整しよう

出力音の音質は、ユーティリティモードの4ページ目「マスタイコライザー」の画面で行ないます。ユーティリティモードでは、DTXPLOER全体に関する設定を行ないます。

まず[SHIFT]+[SAVE/ENT]を押して、ユーティリティモードの1ページ目を表示させます。

ユーティリティモードの1ページ目

```
UTIL1 Hi-hat  
HHofs= 0 T= 0▶
```

SHIFT + SAVE/ENT UTILITY

“HHofs=”の数値部分が点滅しているはずですが、[▶]を1回押すと、点滅位置は“T=”の数値部分に移動します。



```
UTIL1 Hi-hat  
HHofs= 0 T= 0▶
```

もう1回[▶]を押すと、画面はユーティリティモードの2ページ目を表示します。“OutSel=”の数値部分が点滅しています。



```
UTIL2 Click  
4OutSel=mix- ▶
```

さらに2回[▶]を押してページを移動し、ユーティリティモードの4ページ目を表示させます。



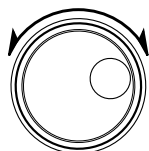
```
UTIL4 MasterEQ  
4Lo=+ 4 Hi=+ 8 ▶
```

このように、本機では[◀]/[▶]で設定する項目を選び(点滅表示)ます。1ページ中に設定項目が1つしかない場合は、[◀]/[▶]を押すと前/次ページに移動します。

* ディスプレイ下段右端の“▶”マークは、次ページがあることを表します。同様に下段左端に表示される“◀”マークは、前ページがあることを表します。

では、このマスタイコライザー(2バンドシェルビングタイプ)の設定画面で、音質を調整しましょう。

“Lo=”の数値部分が点滅しているはず。ジョグダイヤルを回してこの値(低域ゲイン：+0dB～+12dB)を調整することで、低域を強調することができます。



```
UTIL4 MasterEQ
Lo=+ 4 Hi=+ 8
```

同様に[▶]を押して“Hi=”の数値部分を点滅させ、ジョグダイヤルを回して高域ゲイン(+0dB～+12dB)を調整しましょう。

さらに、パッドごとの音色、音量、チューニング、リバーブのタイプやかかり具合など、細かな設定も可能です。(→P. 20)

ハイハットの調整

ハイハットペダル(フットコントローラー)をどのくらい踏み込んだときにハイハットがクローズになるかを、調整することができます。

また、フットスプラッシュの出しやすさを調整することもできます。

* この設定は、HI HAT CONTROL端子に接続したフットコントローラーに対してのみ有効です。HI HAT CONTROL端子以外の端子に接続したフットコントローラーに対しては無効です。

設定手順

1. [SHIFT]+[SAVE/ENT]を押して、以下の画面(ユーティリティモード1ページ)を表示させます。

この画面でハイハットの調整を行ないます。



```
UTIL1 Hi-hat
HHofs= 0 T= 0
```

2. ハイハットのクローズポイントを調整する場合は“HHofs=”の数値部分を点滅させ、ジョグダイヤルを回して調整します。

設定範囲は-32～0～+32です。値が小さいほど踏み込みがより浅いポイントでクローズします。

```
UTIL1 Hi-hat
HHofs=-12 T= 0
```

フットスプラッシュの出しやすさを調整をする場合は“T=”の数値部分を点滅させ、ジョグダイヤルを回して調整します。

設定範囲は0～127です。値が大きいくほどフットスプラッシュの検出時間が長くなり、フットスプラッシュが出しやすくなります。

* 値を大きくしすぎると、連続して踏んでいる場合に誤ってスプラッシュ音が出やすくなります。

```
UTIL1 Hi-hat
HHofs=-12 T= 20
```

メトロノームに合わせて演奏しよう！

メトロノームを鳴らしながら、DTXPLOERERを演奏してみましょう。

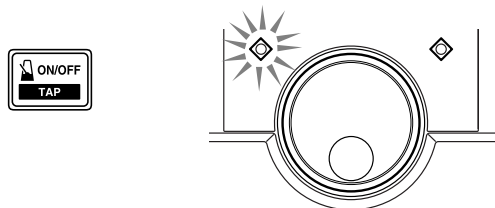
DTXPLOERERのメトロノームは複雑なリズムも設定できる高度なメトロノームです。

1. メトロノームを鳴らしてみよう

[ ON/OFF]を押すとメトロノームがスタートします。

メトロノームの小節先頭のクリックのタイミングで赤のランプが、それ以外のタイミングで緑のランプが点灯します。

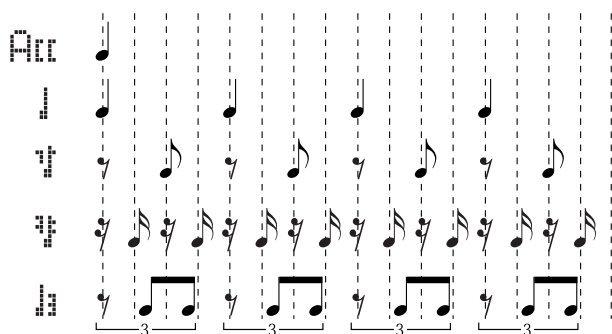
もう一度[ ON/OFF]を押すと停止します。



2. クリックセット、テンポ、拍子などを設定しよう

DTXPLOERERのメトロノームでは、下図のように細かなタイミングのクリックを組み合わせることで、さまざまなクリックのパターンを設定することができます。設定したパターン(クリックセットと呼びます)はDTXPLOERER本体メモリに30パターンまで保存しておくことができます。

例) Beat=4の場合に発音するタイミング



まずはプリセットされているクリックセットを選んで聞いてみましょう。

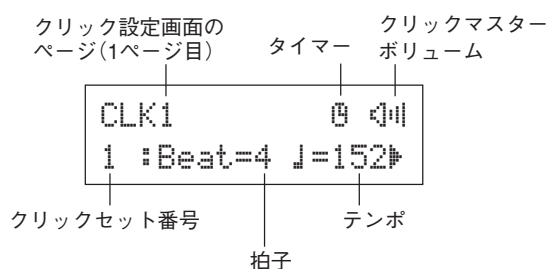
[CLICK]を押して、クリック設定画面の1ページ目を表示させます。



CLK1 0 
1 :Beat=4 ♩=152♩

この画面では、クリックセットを選び、拍子、テンポ、タイマー、クリック音全体の音量を設定します。

[◀]/[▶]を押して設定したい項目を点滅させ、ジョグダイヤルを回してその値を設定します。



・クリックセット番号 【設定範囲】1～30

使用するクリックセットを選びます。

・ビート(拍子) 【設定範囲】1～9

クリックの拍子を設定します。

・テンポ 【設定範囲】30～300

クリックのテンポ(♩=)を設定します。

【ヒント】 テンポの設定に、タップテンポという方法があります。これは、あなたがパッドを叩くタイミングでソングやクリックのテンポを設定する機能です。あなたの感覚でカウントを出して、クリックやソングのテンポを決めることができます。詳しくは18ページをご覧ください。

・タイマー 【設定範囲】off, 30～600秒

メトロノームをスタート後、ここで設定した時間が経過すると自動的にメトロノームを停止させる機能です。

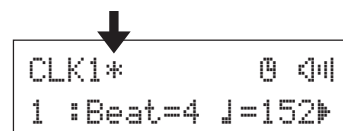
・クリックマスターボリューム 【設定範囲】0～16

クリック全体の音量を設定します。

* 点滅位置がここ以外にある場合は、音量アイコンが表示されません。

重要!

拍子やテンポの設定を変更すると、“CLK1”表示の後に“*”が表示されます。これはデータが変更されたことを示しています。セーブ操作(→P. 16)を実行して変更データを本体メモリに保存するとこの表示は消えます。セーブ操作をせずに他のクリックセットに切り替えるなどすると、現在の設定内容は元に戻ってしまいます。残しておきたいデータはセーブしておきましょう。



3. オリジナルのクリックセットを作ろう

[▶]を押して、クリック設定画面の2ページ目を表示させます。

```
CLK2 Att=9 J=9
◀ V=6 W=4 J=2 ▶
```

この画面で、クリックで鳴る5種類の音符のそれぞれの音量(0～9)を設定します。鳴らさない音符は0に設定します。これでオリジナルのクリックセットを作ることができます。

4. クリックメジャーブレイクの設定

[▶]を押して、クリック設定画面の3ページ目「クリックメジャーブレイク」の設定画面を表示させます。

```
CLK3 MeasBreak
◀ Meas=1 Brk=3 ▶
```

クリックメジャーブレイクとは、メトロノーム発音時に、Measで設定した小節数(1～9)分クリック音を鳴らした後、Brkで設定した小節数(off、1～9)だけミュートさせる機能です。

* Brk=offに設定した場合は、ミュートしません。

5. クリックボイスセットの設定

[▶]を押して、クリック設定画面の4ページ目「クリックボイスセット」の設定画面を表示させます。

```
CLK4 Sound
◀ 1:Metronome ▶
```

クリックボイスセットでは、メトロノームで鳴る5種類のクリック音を、セット単位で一括して変更することができます。

【設定範囲】Metronome, Wood Block, Percussion, Agogo, Stick, Pulse, UserClick

また、“UserClick”に設定すると、以降のページ(CLK5, 6)でさらに細かいクリック音設定ができます。

6. クリックボイスの音色の設定

[▶]を押して、クリック設定画面の5ページ目「クリックボイス」の設定画面を表示させます。

```
CLK5 Sound= 1
◀ K/001 Maple 22 ▶
```

クリック音の種類

ボイスの分類/ボイス番号 ボイス名

クリック音で鳴る5種類の音それぞれについて、ドラムボイスを設定することができます。

* CLK4の画面で“UserClick”以外に設定している場合、この設定はできません。

まず、上段でクリック音の種類(Att, J, V, W, J)を選び、次に点滅表示を下段に移動して、割り当てるボイスを選択します。

まずボイスの分類を選びます。

● ボイスの分類

K:キック
S:スネア
T:タム
C:シンバル
H:ハイハット
P:パーカッション
E:効果音

次にボイス番号(0, 1～127)・ボイス名を選びます。ボイス番号を“0”に設定すると、ボイス名に“NoAssign”と表示され、音が鳴らなくなります。

7. クリックボイスのチューニングの設定

[▶]を押して、クリック設定画面の6ページ目「クリックチューニング」の設定画面を表示させます。

```
CLK6 Sound= 1
◀ Tune=+12.0 ▶
```

クリック音の種類

チューニング

クリック音で鳴る5種類の音それぞれについて、10セント単位でチューニングすることができます。

* CLK4の画面で“UserClick”以外に設定している場合、この設定はできません。

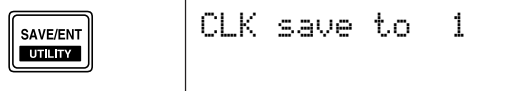
まず、上段でクリック音の種類(Att, J, V, W, J)を選び、次に点滅表示を下段に移動して、チューニング(-24～0～+24)を設定します。

8. オリジナルのクリックセットを保存しよう

ここまでで設定したオリジナルのクリックセットを、以下のセーブ操作で本体メモリーに保存しておきましょう。

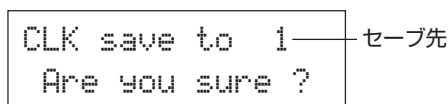
* セーブをせずにクリック番号を切り替えると、エディット内容は消えてしまいます。

8-1. [SAVE/ENT]を押します。以下のような画面が表示されます。



8-2. ジョグダイヤルを回して、セーブ先のクリックセット番号(1～30)を指定します。

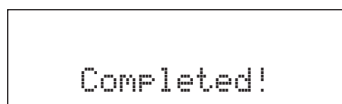
8-3. [SAVE/ENT]を押すと、セーブ実行の確認を求める下の画面が表示されます。



8-4. [SAVE/ENT]を押すと、セーブが実行されます。

* セーブをキャンセルする場合は、[SAVE/ENT], [SHIFT]以外のすべてのボタン(“Are you sure”画面ではジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押します。

セーブが終了すると、以下の画面が表示されます。



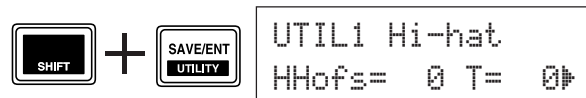
ヒント クリックセット1～30の内容を工場出荷時の状態に戻したい場合は、『ファクトリーセット』を実行します。しかしファクトリーセットを実行すると、現在DTXPLOERに設定されている内容(全クリックセット、ユーザートリガーセットアップ(No. 5)、ユーザードラムキット33～42)はすべて工場出荷時の内容に書き替えられてしまいますので、ご確認の上で実行してください。(→P. 23)

クリックアウトセレクト

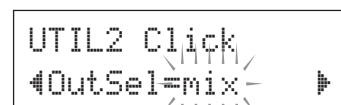
メトロノーム(クリック音)の出力先端子を選ぶことができます。クリック音と演奏音を分けて出力することができます。

設定手順

1. [SHIFT]+[SAVE/ENT]を押して、以下の画面(ユーティリティモード1ページ)を表示させます。



2. 次に[▶]を2回押して下記の画面を表示させます。



3. ジョグダイヤルを回して、出力先を以下から選択します。

mix 通常の設定です。クリック音はOUTPUT L, R両端子に出力されます。

clickL クリック音はOUTPUT L端子にのみ出力されます。ドラムの演奏音やソングの再生音はすべてモノラルになってOUTPUT R端子に出力されます。

clickR クリック音はOUTPUT R端子にのみ出力されます。ドラムの演奏音やソングの再生音はすべてモノラルになってOUTPUT L端子に出力されます。

* PHONES端子には、常にOUTPUT端子と同じ信号が出力されます。よって、ここでの設定は、PHONES端子のステレオL, Rにも適用されます。

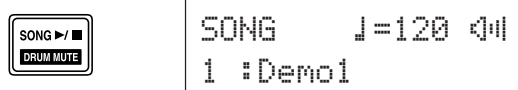
ソングと一緒に演奏してみよう！

DTXPLOERERには、ドラムだけでなくキーボードやブラスなどの伴奏音も含んだソングデータが、22曲内蔵されています。ソングに合わせて演奏してみましょう。

1. ソングを選ぼう

DTXPLOERERにセットされているソングを選んで聴いてみましょう。

[SONG ▶/■]を押して、ソングの選択画面を表示させます。



[◀]/[▶]を押してソング番号を点滅させ、ジョグダイヤルで再生したいソングのソング番号(1~22)を設定します。

* ソングを切り替えると、ドラムキットもそのソングに適したものに切り替わります。



2. ソングを聴いてみよう

[SONG ▶/■]を押すと、カウントのあとでソングが先頭からスタートします。

曲の最後まで再生すると、自動的に先頭に戻って再生します。停止するときは[SONG ▶/■]を押します。

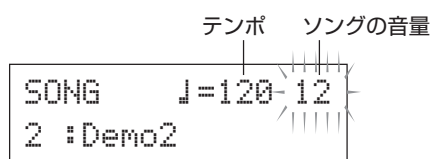


- * ソングのテンポやボイス(音色)を元(呼び出したとき)の設定に戻したい場合は、そのソングを選び直してください。
- * ソング再生中にソングを切り替えると、新しいソングは先頭から続けて再生されます。

3. ソングの音量、テンポを調節しよう

[◀]/[▶]を押してテンポの値を点滅させ、ジョグダイヤルでソングの再生テンポ(♩=30~300)を設定します。

次に[▶]を押して点滅位置を右に移動します。スピーカーアイコンが数値表示になり点滅します。ここでソングの**ドラム音以外の音量**(0~16)を設定します。ジョグダイヤルを回して自分の演奏音とソングの音量とのバランスを調整しましょう。



ヒント テンポの設定に、タップテンポという方法があります。これは、あなたがパッドを叩くタイミングでソングやクリックのテンポを設定する機能です。あなたの感覚でカウントを出して、クリックやソングのテンポを決めることができます。詳しくは18ページをご覧ください。

4. チューニングを調整しよう

ソングのチューニングを10セント単位で調整することができます。

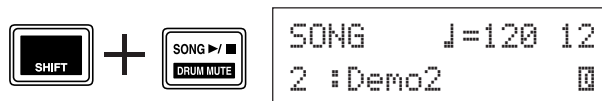
チューニングの設定は、ユーティリティモードで行ないます。まず[SHIFT]+[SAVE/ENT]を押してユーティリティモードの1ページ目を表示させます。次に[▶]を6回押して下記のマスターチューニングの画面を表示させたら、ジョグダイヤルでチューニング(-24.0~0~+24.0)を調整します。



5. ドラムパートをミュート(発音させない)しよう

それでは、ソングと一緒に演奏してみましょう。

[SHIFT]を押しながら[SONG ▶/■]を押すと、下段右端に“M”マークが表示されます。これはドラムミュート機能がオンになっていることを表します。[SHIFT]+[SONG ▶/■]を押すと、ソングの中のドラムパートがミュート(発音させない)された状態で再生されます。



ドラムパートはあなたが演奏しましょう。

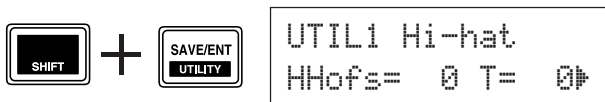
ドラムミュートを解除するには、もう一度[SHIFT]を押しながら[SONG ▶/■]を押します。

* ドラムミュートはソング演奏中でも可能です。

6. ベースソロとプレイしよう

ソング再生時にベース音のみを再生する「ベースソロ」という機能があります。ベース音以外の伴奏音をミュートしてソングが再生されるので、あなたのドラム演奏とベースのみでリズムトレーニングができます。

まず[SHIFT]+[SAVE/ENT]を押して、以下の画面(ユーティリティモード1ページ)を表示させます。



次に[▶]を3回押して下記の画面を表示させます。ジョグダイヤルを回して“BassSolo=on”に設定しましょう。



この状態で[SONG ▶/■]を押してソングを再生すると、ソングのベース音のみが再生されます。

ヒント ドラムミュートやベースソロでソングを再生すると、テンポが取りづらくなります。そのような場合はソングと同時にメトロノームを動作させ、クリック音を流すと演奏しやすくなります。
[ON/OFF]を押すとメトロノームがソングのテンポに従ってスタートします。もう一度[ON/OFF]を押すと停止します。

ヒント 通常は、ソングを切り替えるとそのソングに設定されているドラムキットに自動的に切り替わります。気に入ったソングを別のドラムキットで鳴らしたい場合は、[DRUMKIT]を押して、ドラムキット選択画面でドラムキット番号を変更します。
また、ドラムミュート([SHIFT]+[SONG ▶/■])をした状態でソングを切り替えると、ソングは切り替わってもドラムキットはそのままになります。

タップテンポ機能

タップテンポ機能とは、パッドを叩くタイミングでソングやクリックのテンポを設定する機能です。あなたの感覚でカウントを出して、ソングやクリックのテンポを決めることができます。

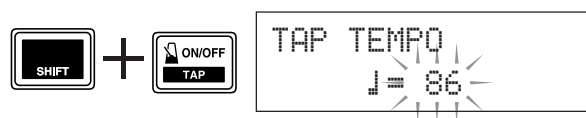
パッドを叩く代わりに[◀]/[▶]を押しても設定できます。

設定手順

1. [SHIFT]+[ON/OFF]を押します。

下図のようにタップテンポの設定画面が表示されます。

* ソングの再生中やクリックを鳴らしている状態でも、タップテンポを設定できます。

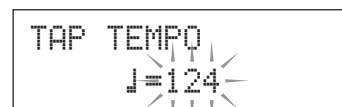
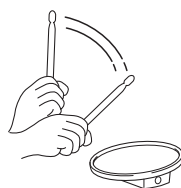


2. 演奏したいテンポで、パッドを叩きます(または[◀]/[▶]を押します)。

パッドを叩いた時間間隔でテンポ値が表示されます。

* パッドはどのパッドでもかまいません。

* ジョグダイヤルを回してテンポ値を変えることもできます。



3. [SAVE/ENT]を押すとテンポ値が確定され、表示の点滅が止まります。

ソングやクリックの再生中であれば、設定したテンポはすぐに反映されます。

グループチェック機能を使ってみよう！

グループチェック機能とは、ソングやクリックに合わせてパッドやドラムを演奏する際、叩くタイミングが再生中のソングやクリックのクロックからどれくらいずれているかをチェックする機能です。同時にトリガーレベルもチェックできるので、正確なショットの練習に役立ちます。

1. ソング、クリックセットを選んでおこう

あらかじめ、自分が練習したいソングやクリックセットを選んでおきます。

2. グループチェック画面

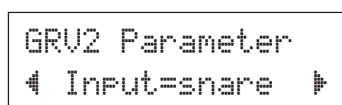
[SHIFT]+[CLICK]を押してグループチェックのメイン画面(GRV1)を表示させます。ジョグダイヤルを回して、ソングやクリックのテンポ(♩=30~300)を設定します。



3. パッドの選択

[▶]を押してGRV2ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、グループチェックしたいパッド(トリガー入力ソース)を選びます。"ALL"を選ぶと全パッドが対象になります。

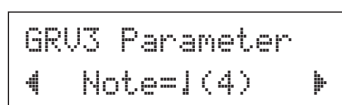
【設定範囲】snare, tom1, ... pad9, ALL



4. タイミング(音符)の設定

[▶]を押してGRV3ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、グループチェックしたいタイミングの音符を選びます。

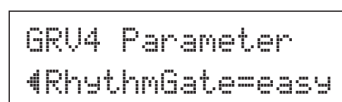
【設定範囲】Att, ♩(4), ♩(8), ♩(16), ♩



5. リズムゲートの設定

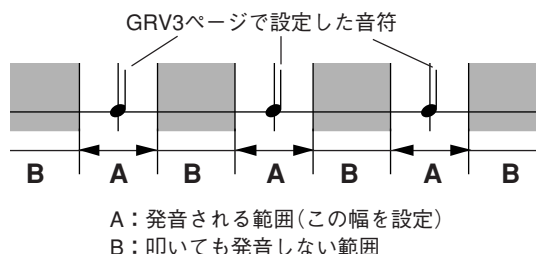
必要に応じて[▶]を押してGRV4ページを表示させ、リズムゲートを設定します。これは、GRV3で設定した音符よりもある範囲以上ずれていた場合、発音されない設定です。

【設定範囲】off, easy, norm, pro



easy→norm→proと、発音される範囲が狭くなります。つまり、より正確なタイミングで叩かないと発音されなくなります。offに設定すると、すべてのショットが発音されます。

* リズムゲート機能は、グループチェックのメイン画面(GRV1)が表示されている時のみ有効です。



6. グループチェックスタート！

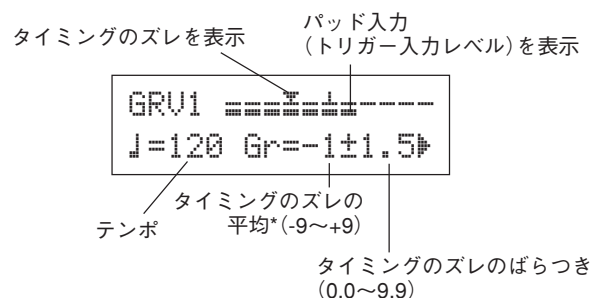
設定が完了したら、グループチェックのメイン画面(GRV1)を表示させた状態で、ソングをスタート([SONG ▶/■])またはクリックをスタート([ON/OFF])します。

7. 正確にプレイしよう

ソングやクリックを聞きながら、正確にパッドを叩きましょう。ジョグダイヤルを回して、ソングやクリックのテンポを調整することもできます。

画面上段には、1ショットごとのタイミングのズレとトリガー入力レベルが表示されます。タイミングがジャストタイミングより遅れている場合は右、速い場合は左にアイコンが表示されます。

画面下段には、テンポおよびGRV3画面で設定した音符と実際のショットとのタイミングのズレの平均とそのばらつきが表示されます。



* タイミングのズレの表示と目安

0(ジャスト)、1~9(単位は16分音符の1/24)

* グループチェックの結果は、ソングまたはクリックを再スタートした際にリセットされます。

自分だけのドラムキットを作ろう！

パッドごとに自分の好きなドラム音を割り当て、チューニングや音色、減衰時間、リバーブ量などを設定し、オリジナルのドラムキットをセットアップしましょう。

1. ドラムキットを選ぶ

[DRUM KIT]を押してドラムキットの選択画面(KIT1ページ)を表示させます。



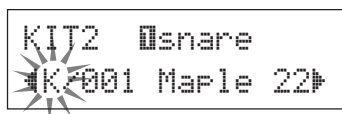
ジョグダイヤルを回して、ベースになるドラムキットを選びます。あなたが作りたいドラムキットのサウンドに近いものを選びましょう。

* プリセットドラムキット (No. 1~32) もユーザードラムキット (No. 33~42) もエディットすることができます。

2. ドラムボイスを選ぶ

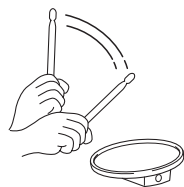
ここでは例としてバスドラム音(kick)を作り込んでいきましょう。

2-1. [◀]/[▶]を押して、ドラムボイスの選択ページ(KIT2)を表示させます。

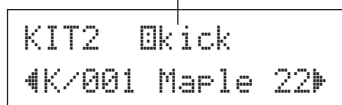


2-2. エディット対象のパッド(トリガー入力ソース)の切り替えは、目的のパッドを叩くか[SHIFT]+[◀]/[▶]で行ないます。

キックペダルを踏むか、または[SHIFT]+[◀]/[▶]で“kick”を選びます。これは、トリガー入力端子の8 KICKに接続しているパッド入力、つまりキックペダルのパッド入力を選んでいきます。



エディット対象のパッド



●パッド(トリガー入力ソース)について

パッドの入力ソースとは、DTXPLORERの入力端子1~9に接続しているパッドやトリガーセンサーから送られるトリガー情報の種類をいいます。

TP60/65/80, KP60/65/80, PCY60/65/80/130, DT10/20などのモノラル出力のパッド類の場合は、1つの入力端子には1つの入力ソースが割り当てられます。

TP65S/80S, PCY65S/80S/130Sなどのステレオ出力のパッド類の場合は、1つの入力端子に2つの入力ソース(パッド入力とリムスイッチ入力、2種類のパッド入力など)が割り当てられます。

TP65S/PCY150Sなどの3ゾーンパッド類の場合は、1つの入力端子に3つの入力ソース(パッド入力と2種類のリムスイッチ入力など)が割り当てられます。

パッド(トリガー入力ソース)の切り替えは、目的のパッドを叩くか[SHIFT]+[◀]/[▶]で行ないます。

各入力ソース表示の意味は以下の通りです。

Snare	トリガー入力端子1のパッド入力
snrR1	トリガー入力端子1のリムスイッチ1入力
snrR2	トリガー入力端子1のリムスイッチ2入力
tom1	トリガー入力端子2のパッド入力
tom2	トリガー入力端子3のパッド入力
tom3	トリガー入力端子4のパッド入力
bride	トリガー入力端子5のパッド入力
brideE	トリガー入力端子5のエッジリムスイッチ入力
crash	トリガー入力端子6のパッド入力
crashE	トリガー入力端子6のエッジリムスイッチ入力
open	トリガー入力端子7のパッド入力 (ハイハットコントローラーがフルクローズでないとき)
close	トリガー入力端子7のパッド入力 (ハイハットコントローラーがフルクローズのとき)
footCl	トリガー入力端子7のハイハットコントローラーを踏んだイベント
splash	トリガー入力端子7のハイハットコントローラーのスプラッシュイベント
kick	トリガー入力端子8のパッド入力
pad9	トリガー入力端子9のパッド入力

* モノラル出力のパッド類にはリムスイッチ出力はありません。

2-3. 次に、ドラムボイスの分類を決めます。ドラムボイスの分類は、メトロノームのクリックボイスと同じです。

● ボイスの分類

K：キック
S：スネア
T：タム
C：シンバル
H：ハイハット
P：パーカッション
E：効果音

ここでは“K：キック”を選択しましょう。

[◀]/[▶]を押してボイスの分類を点滅させ、ジョグダイヤルを回して、“K”を選びます。

重要!

データの設定を変更すると、“KIT”表示の後に“*”が表示されます。これはデータが変更されたことを示しています。セーブ操作(→P. 23)を実行して変更データを本体メモリー(ユーザードラムキット)に保存するとこの表示は消えます。セーブ操作をせずに他のドラムキットに切り替えるなどすると、エディット内容は元に戻ってしまいます。残しておきたいデータはセーブしておきましょう。

2-4. 次に、ドラムボイスを選びましょう。

[◀]/[▶]を押してボイス番号を点滅させ、ジョグダイヤルを回して、ドラムボイスを指定します。ボイス番号とボイス名が表示されます。

ここでは“K/001 Maple 22”を選択してみましょう。

* “0”に設定すると、ボイス名に“NoAssign”と表示され、音が鳴らなくなります。

```
KIT2* 0kick
◀K/001 Maple 22▶
```

これで、材料となるドラムボイスを選びました。

このキックのドラムボイスを様々なエディットして、オリジナルのバスドラム音を作りましょう。

3. ボリュームを変えてみよう

パッドを叩いたときのドラムボイスの音量を変えてみましょう。他のパッドの音量とのバランスを調整します。

[▶]を押してKIT3ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、音量(0~127)を設定します。

```
KIT3* 0kick
◀ Volume=110 ▶
```

4. チューニング(ピッチ)を変えてみよう

ドラムボイスのチューニング(音程)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT4ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、チューニングを設定します。

-24.0~0~+24.0セントの範囲で10セント単位で設定できます。

```
KIT4* 0kick
◀ Tune=+ 8.0 ▶
```

5. パンを変えてみよう

ドラムボイスのパン(ステレオでの定位)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT5ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、パンを設定します。

“L64”(左端)~“C”(中央)~“R63”(右端)と、設定によって現在選択されているドラムボイスの間こえる位置が移動します。

```
KIT5* 0kick
◀ Pan=L 5 ▶
```

6. リバーブタイプを変えてみよう

ドラムキットにかかるリバーブのタイプを変えてみましょう。設定したリバーブタイプは、ドラムキットの全入力ソースに共通です。

[▶]を押してKIT6ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、リバーブタイプを設定します。

```
KIT6* -ALL-
◀ RevType=hall1 ▶
```

自分だけのドラムキットを作ろう！

none	リバーブはかかりません。(スルーと同じ)
hall1~5	ホールをシミュレーションしたリバーブです。
room1~5	部屋をシミュレーションしたリバーブです。
stage1~5	ステージで演奏しているようなリバーブです。
plate	金属的な響きを持ったリバーブです。
white	独特の短いリバーブです。
tunnel	トンネルの中で演奏しているようなリバーブです。
bsemnt	地下室で演奏しているようなリバーブです。

* hall, room, stageは、数字が大きいほど効果が大きくなります。

7. リバーブのかかり具合を変えてみよう

入力ソースごとに、そのボイスのリバーブのかかり具合を設定することができます。

[▶]を押してKIT7ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、リバーブレベル(0~127)を設定します。

```
KIT7* 0kick
◀ RevLevel= 41 ▶
```

8. ディケイ(音の減衰時間)を変えてみよう

ドラムボイスのディケイ(音が鳴ってから消えるまでの時間)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT8ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、ディケイ(-64~0~+63)を設定します。
プラスの値にすると歯切れの良い音になります。

```
KIT8* 0kick
◀ Decay= 0 ▶
```

9. 音色を変えてみよう(フィルターの設定)

フィルターのカットオフ周波数を調整して、ドラムボイスの音色(音の明るさ)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT9ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、カットオフ周波数(-64~0~+63)を設定します。
プラスの値にすると明るい音色になります。

```
KIT9* 0kick
◀ CutOffFreq= 0 ▶
```

10. オルタネイトグループを設定しよう

ハイハットクローズとハイハットオープンのように、同時には鳴らしたくないドラムボイスを同じオルタネイトグループ番号に指定しておくと、発音中のボイスと同じオルタネイトグループ番号のボイスのトリガーを受けた場合、発音中のボイスを消してから次のボイスを発音(ハイハットオープンの発音を消してからクローズが発音)します。

[▶]を押してKIT10ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、オルタネイトグループ(off, 1~9)を設定します。
“off”に設定すると消音動作は行なわれません。

```
KIT10*0kick
◀ AltGroup= 1 ▶
```

* ボイスの中には、ハイハットなどのようにオルタネイトグループがプリセットで設定されている場合があります。

11. MIDIキーオン/オフを設定しよう

入力ソースごとに、MIDIノートオンメッセージのキーオン/キーオフの設定をすることができます。

[▶]を押してKIT11ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、キーオン/キーオフを設定します。

```
KIT11*0kick
◀ KeyOn/Off=norm
```

norm	キーオフを認識しません。
hold	キーオフを認識します。パッドを叩くごとにキーオン/キーオフを交互に出力します。
0.0s~9.9s	キーオフを確認してキーオンからキーオフまでの時間(ゲートタイム)を設定できます。

* “norm”に設定した場合、ボイスによっては音が鳴りっぱなしになってしまうものがあります。[DRUM KIT]を押すと音を止めることができます。

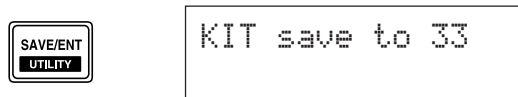
12. できあがったオリジナルのボイスを保存しよう

ここまでで設定したオリジナルのドラムキットを、以下のセーブ操作で本体メモリーに保存しておきましょう。

音作りのできたドラムボイスをDTXPLOERのメモリーに保存しましょう。ユーザードラムキット(33～42)に、ドラムキット単位で保存することができます。

* セーブをせずにドラムキットを切り替えると、エディット内容は消えてしまいます。

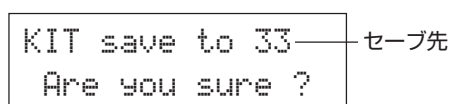
12-1. [SAVE/ENT]を押します。以下のような画面が表示されます。



12-2. ジョグダイヤルを回して、セーブ先のユーザードラムキット番号(33～42)を指定します。

* プリセットドラムキット(1～32)にはセーブすることはできません。

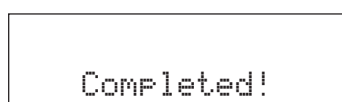
12-3. [SAVE/ENT]を押すと、セーブ実行の確認を求める下の画面が表示されます。



12-4. [SAVE/ENT]を押すと、セーブが実行されます。

* セーブをキャンセルする場合は、[SAVE/ENT], [SHIFT]以外のすべてのボタン(“Are you sure”画面ではジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押します。

セーブが終了すると、以下の画面が表示されます。



これでオリジナルボイスのバスドラムを持ったドラムキットができました。

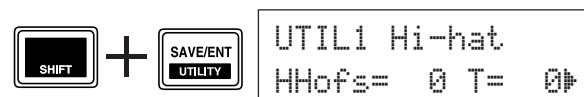
同様の手順で、他のパッド(入力ソース)のドラムボイスも作って、自分だけのドラムキット作りにチャレンジしてみてください。

ファクトリーセット

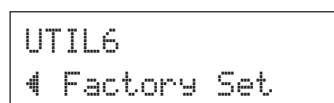
DTXPLOERの内部の設定をすべて、工場出荷時の状態に戻す機能です。

操作手順

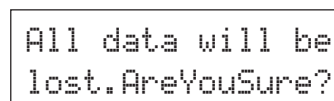
1. [SHIFT]+[SAVE/ENT]を押して、以下の画面(ユーザーリティモード1ページ)を表示させます。



2. 次に[▶]を7回押して下記の画面を表示させます。



3. 上記画面で[SAVE/ENT]を押すと、ファクトリーセット実行の確認を求める下の画面が表示されます。



4. ここでもう一度[SAVE/ENT]を押すとファクトリーセットが実行されます。

* ファクトリーセットをキャンセルする場合は、[SAVE/ENT], [SHIFT]以外のすべてのボタン(ジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押します。

トリガーセットアップエディット

トリガーセットアップデータとは、トリガー入力端子に接続したパッドやトリガーセンサーからのトリガー入力に対して、DTXPLOERで内部処理するのに適性な信号に調整するためのデータです。セットに付属された以外のパッドやアコースティックドラムにドラムトリガーを装着したものをお使いの場合は、トリガー入力ごとに感度の調整やドラムボイスの割り当てを行なう必要があります。また、クロストークやダブルトリガーを防止するための設定も行ないます。

トリガーセットアップの切り換え

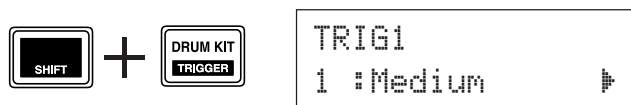
トリガーセットアップデータは、プリセットで4種類(No. 1~4)用意されています。No. 1は、DTXPLOERセットパッドをトリガー入力端子の印刷(1 SNAREなど)の通りに接続した場合の基本的なセットアップデータです。工場出荷時はトリガーセットアップには、No. 1が設定されています。

No. 2~4もDTXPLOERセットパッド用のセットアップデータです。感度や表現力の設定に違いがあります。

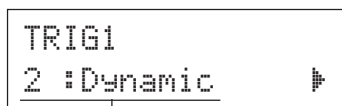
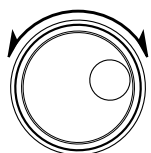
No. 5はカスタムのトリガーセットアップを保存するためのメモリーです。詳しくは次の「トリガーセットアップのエディット手順」をご覧ください。

用途に応じてトリガーセットアップを切り替えてお使いください。切り替えの手順は以下の通りです。

1. [SHIFT] + [DRUM KIT]を押して、トリガーセットアップ選択画面(TRIG1ページ)を表示させます。



2. ジョグダイヤルを回して、使用するドラムセットに合ったトリガーセットアップを選択します。



トリガーセットアップ

トリガーセットアップのエディット手順

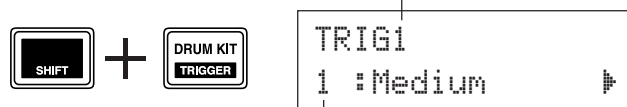
DTXPLOERセット以外のパッドやドラムトリガーを接続した場合や、ダブルトリガーやクロストークの解消のために、プリセットのトリガーセットアップを修正したり、個々のパッドごとに詳細な設定を行なうことができます。

また、そうして設定したカスタムセットアップは、トリガーセットアップのNo. 5に保存しておくことができます。

1. [SHIFT] + [DRUM KIT]を押して、トリガーセットアップ選択画面(TRIG1ページ)を表示させます。現在設定されているトリガーセットアップが表示されます。

* 別のトリガーセットアップをエディットする場合は、ここでジョグダイヤルを回してトリガーセットアップを選びます。

トリガーモードのページ(1ページ目)



トリガーセットアップ番号：セットアップ名

2. トリガーセットアップのエディットは、TRIG2~TRIG8の設定画面で行ないます。

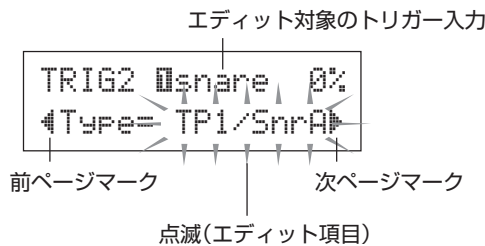
[◀]/[▶]を押して、表示ページを切り替えエディットしたい項目を点滅させます。

* 各項目について詳しくは、25ページ~をご覧ください。

エディット対象のトリガー入力(入力端子)の切り替えは、目的のパッドを叩くか[SHIFT]+[◀]/[▶]で行ないます。

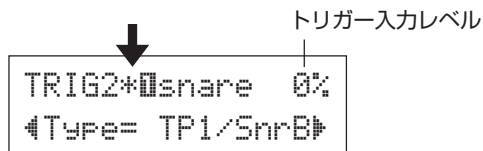
・トリガーセットアップ一覧

No.	Name	特 長
1	Medium	基本的なバランスの設定
2	Dynamic	ダイナミックレンジが広く表現力があるが、振動に敏感な設定
3	Easy	演奏のバラツキを吸収して気軽に演奏できる設定
4	DT10/20	DT10/20をドラムセットに装着して使用する場合の設定
5	User	トリガーに関するセットアップを自由に設定し、保存することができます。



3. ジョグダイヤルを回して、設定を変更します。

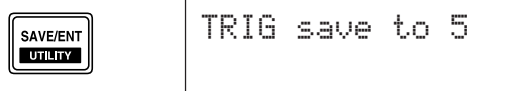
- * データの設定を変更すると、“TRIG”表示の後に“*”が表示されます。セーブを実行するとこの表示は消えます。
- * 上段右にはパッドを叩いたときのトリガー入力レベルが表示されます。ゲイン設定などの際に叩く強さの目安にしてください。



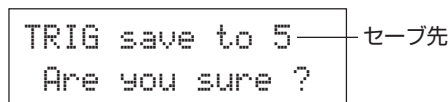
4. 変更した設定を保存しておく場合は、以下の手順でユーザートリガーセットアップ(No. 5)にセーブします。

- * セーブをせずにトリガーセットアップを切り替えると、エディット内容は消えてしまいます。

4-1. [SAVE/ENT]を押します。以下のような画面が表示されます。



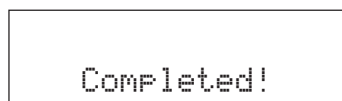
4-2. [SAVE/ENT]を押すと、セーブ実行の確認を求める下の画面が表示されます。



4-3. [SAVE/ENT]を押すと、セーブが実行されます。

- * セーブをキャンセルする場合は、[SAVE/ENT], [SHIFT]以外のすべてのボタン(“Are you sure”画面ではジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押します。

セーブが終了すると、以下の画面が表示されます。



TRIG1 トリガーセットアップ選択

TRIG1
1 :Medium

【設定範囲】1〜5

トリガーセットアップタイプを選択します。(→P. 24)

TRIG2 Type(パッドタイプ)

TRIG2 Snare 0%
Type= TP1/SnrA

上段で指定している入力端子(上の例では[1 SNARE]端子)に接続しているパッドの種類を設定します。

- * 「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」(→P. 26)、「TRIG5 セルフリジェクションタイム」(→P. 26)の値は、ここで設定したパッドタイプに最適な値に自動設定されます。

各パッドタイプ表示の意味は以下の通りです。

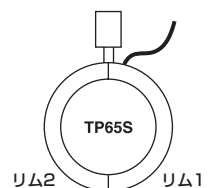
KP	KP80S/80/65/60
TP1/SnrA	TP65S/65 (主にスネアパッドとして使用) *1
TP1/SnrB	TP65S/65 (主にスネアパッドとして使用) *1, *2
TP1/Tom	TP65S/65 (主にタムパッドとして使用) *1
TP2-A	TP80S/80/65/60 *3
TP2-B	TP80S/80/65/60 *3
PCY1	PCY150S
PCY2	PCY130S/130
PCY3	PCY80S/80/65/60/10
RHH	RHH130
RHP Pad	RHP120SD/120/100/80 (パッド側) *4
RHP Rim	RHP120SD/120/100/80 (リム側) *4
RHP Kick	KP120
BP	BP80 *5
DT Snare	ドラムトリガー-DTシリーズ (スネアドラム用)
DT HiTom	ドラムトリガー-DTシリーズ (ハイタム用)
DT LoTom	ドラムトリガー-DTシリーズ (ロータム用)
DT Kick	ドラムトリガー-DTシリーズ (キックドラム用)
misc 1~6	他社製パッド1~6

- *1 TP65Sなどの3ゾーン対応パッドを1 SNAREに接続すると、3ゾーン機能(パッド音色×1、リム音色×2)が利用できます。

5 RIDEまたは6 CRASHに接続すると、リムは1音色となります。クローズドリムショット用に、「TP1/SnrA」はリム1側の感度が、「TP1/SnrB」はリム2側の感度が高い設定です。「TP1/Tom」は左右のリムの感度が同じ設定です。

それ以外のInputに接続した場合は、リムは発音されずパッド1音色のみとなります。

- *2 「TP1/SnrB」は「TP1/SnrA」とリム1とリム2の音色が逆になります。左利きの方が左右対称のセッティングをする場合などに有効です。



トリガーセットアップエディット

- *3 TP80Sなどのステレオパッドを1 SNAREに接続した際、「TP2-A」ではリム音がリム1に割り当てた音色が、「TP2-B」ではリム2に割り当てた音色が発音します。(→P. 20参照)
- *4 RHPシリーズをステレオパッドとして使う場合は、Input 8/9に接続し、Input 8のパッドタイプを「RHP Pad」、Input 9のパッドタイプを「RHP rim」に設定します。
- *5 BP80をステレオパッドとして使う場合は、Input 8/9に接続します。

TRIG3 Gain(ゲイン)、MVI(ミニマムベロシティ)

```
TRIG3 Msnare 0%
Gain=65MVI= 15
```

Gain 【設定範囲】0～99

上段で指定している入力端子の入力ゲイン(感度)を調整します。値が大きいほど小さい入力でも発音します。

- * 先に「TRIG2 パッドタイプ」で正しいパッドタイプに設定し、この値を自動設定した後で微調整を行ってください。
- * 感度調整ツマミが付いているパッドもあります。パッドに付属の取扱説明書をご覧ください。

MVI 【設定範囲】1～127

最も弱くパッドを叩いたときに出力するMIDIベロシティ(音量)を設定します。値が大きいほど小さい入力でも大きな音量で発音しますが、音量の変化幅が狭くなるのでショットの強弱による音量の表現幅が狭くなります。

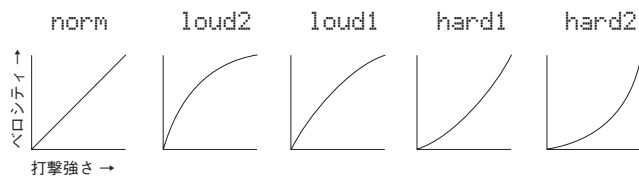
パッドを叩くと、ディスプレイ上段右にトリガーの入力レベルが%で表示されます。最大入力時(入力レベル99%)のベロシティが127となります。最も弱く叩いたときのレベルが低いほどショットの強弱による音量の変化幅が広がります。

- * 先に「TRIG2 パッドタイプ」で正しいパッドタイプに設定し、この値を自動設定した後で微調整を行ってください。

TRIG4 ベロシティカーブ

```
TRIG4 Msnare 0%
VelCurve=norm
```

上段で指定している入力端子のベロシティカーブを設定します。



TRIG5 SelfRejTime(セルフリジェクションタイム)

```
TRIG5 Msnare 0%
SelfRejTime=1
```

【設定範囲】0～9

上段で指定している入力端子の、ダブルトリガーの発生を防止します。入力を感じたら、その後一定時間トリガーイベントを検出しません。値が大きいほど検出しない時間が長くなります。

TRIG6 Rejection(リジェクションレベル)

```
TRIG6 Msnare 0%
Rejection=2
```

【設定範囲】0～9

上段で指定している入力端子の、クロストークの発生を防止します。他のパッド(入力端子)によるトリガーイベントが発生後一定時間以内に、ここで指定した値に達しない入力レベルのトリガーに対してはトリガーイベントを発生しません。値が大きいほど強く叩かないとトリガーイベントを発生しません。

TRIG7 SPRej(指定リジェクションレベル)

```
TRIG7 Msnare 0%
SPRej=0from= 1
```

SPRej 【設定範囲】0～9

from 【設定範囲】1～9, 56

上段で指定している入力端子と“from”で指定した入力端子との間でのクロストークを防止します。

“from”で指定した入力端子のパッドにトリガーイベントが発生後一定時間以内に、上段で指定した入力端子のパッドの入力レベルが、ここで指定した値以上でないとトリガーイベントを発生しません。値が大きいほど強く叩かないとトリガーイベントを発生しません。

“from=56”に設定するとトリガー入力端子5と6の両方を指定できます。

**TRIG8 Copy to Input
(トリガーセットアップコピー)**

```
TRIG8 0snare  
4Copy to Input=2
```

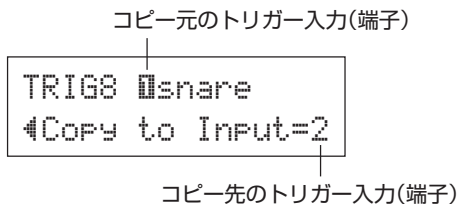
「TRIG2 パッドタイプ」～「TRIG7 指定リジェクションレベル」の設定内容すべてを、他の入力端子の設定にコピーする機能です。



トリガーセットアップコピーを実行すると、コピー先入力端子のトリガーセットアップの内容はすべてコピー元の内容に書き替えられてしまいます。

操作手順

1. コピー元のトリガー入力(端子)を、パッドを叩いて選択します。
ジョグダイヤルを回して、コピー先のトリガー入力(端子)を指定します。



2. [SAVE/ENT]を押すと、コピー実行の確認を求める下の画面が表示されます。

```
Input Copy to 2  
Are you sure ?
```

3. [SAVE/ENT]を押すと、コピーが実行されます。
* コピーをキャンセルする場合は、[SAVE/ENT], [SHIFT]以外のすべてのボタン(ジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押します。

コピーが終了すると、以下の画面が表示されます。

```
Completed!
```

エラーメッセージ一覧

設定や操作が正しくない場合や、動作において異常が発生した場合、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容を確認し、正しく設定・操作するなど、対処してください。

ERROR
Data Initialized

電源ON時、正常に情報を読み込めなかったため、ファクトリーセットを行ないました。バックアップ RAM のデータが破損しているか、バックアップ電池の電圧が低い可能性があります。お買い上げのお店か、お近くのヤマハ電気音響サービス拠点にご連絡ください。

WARNING
Battery Low

本体内のバックアップ電池の電圧が下がっています。ユーザーデータが失われる可能性があります。お買い上げのお店か、お近くのヤマハ電気音響サービス拠点にご連絡ください。

故障かな？と思ったら

DTXPLOERERが発音しない、または打撃を検出しない

- パッド、またはトリガーセンサーが正しくDTXPLOERERのトリガー入力端子に接続されていますか？(→P. 9)
- リアパネルのボリュームが下がっていませんか？(→P. 12)
- パッドを叩いたときにインプットレベルが表示されますか？(→P. 25：「トリガーセットアップエディットTRIG2～TRIG7ページ画面」)
- ゲインの設定が低すぎませんか？(→P. 26：「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- ドラムキットの「KIT3 ボリューム」(→P. 21)の画面でボリュームが“0”になっていませんか？
- 使用しているケーブルが不良ではありませんか？

外部の音源が発音しない

- MIDIケーブル(コネクター)は正しく接続されていますか？
- MIDIコネクターが一致していますか？

音は出るが感度が低い(音が小さい)

- ゲインの設定が低すぎませんか？(→P. 26：「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- パッドに出力や感度の調整ボリュームなどがある場合は、(上げる方向で)調整してください。
- ミニマムベロシティの設定が低すぎませんか？(→P. 26：「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- ベロシティカーブは適切ですか？(→P. 26：「TRIG4 ベロシティカーブ」)
- 発音させようとするボイスのボリュームが小さすぎませんか？(→P. 21：「KIT3 ボリューム」)

安定したトリガーができない(アコースティックドラムの場合)

- 上の“音は出るが感度が低い”の項目をチェックしてください。
- パッドタイプは適切ですか？より大きなサイズのドラム用のパッドタイプ(DT snare→DT hi tom→DT lo tom→DT kick 1→DT kick 2)に変更してみてください。(→P. 25：「TRIG2 パッドタイプ」)
- DT20はしっかりと粘着テープで固定されていますか？(古い粘着テープが残っていませんか？)
- ケーブルはしっかりとDT20のジャックに接続されていますか？

ダブルトリガー（二度鳴り）を起こす

- パッドに出力や感度の調整ボリュームがある場合は、（下げる方向で）調整してください。
- ゲインの設定が高すぎませんか？（→P. 26：「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」）
- セルフリジェクションを設定してください。（→P. 26：「TRIG5 セルフリジェクションタイム」）
- （トリガーセンサーをお使いの場合）ヤマハ以外のセンサーを使用していませんか？信号が大きいとダブルトリガーを起こします。
- ヘッドが不規則な振動を起こしていませんか？ミュートする必要があります。
- ヘッドの中心近くにセンサーを取り付けていませんか？リムに近いところが適切です。
- センサーに何か触れていませんか？

クロストーク（端子間での音の混ざり合い）を起こす

- ゲインの設定が高すぎませんか？（→P. 26：「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」）
- リジェクションの値を高くしてみてください。ただしこの値を高くしすぎると、他のドラムと同時に叩いたときに発音しないなどの問題が生じる可能性があります。（→P. 26：「TRIG6 リジェクションレベル」）
- 特定のトリガー入力音色とクロストークする場合は指定リジェクションを使ってください。（→P. 26：「TRIG7 指定リジェクションレベル」）
- DT20などのトリガーセンサーをお使いの場合は、センサーを隣のドラムから離れた位置に取り付けてください。

2つのパッド（ドラム）を同時に叩いたとき、1つしか鳴らない

- 鳴らないほうのパッド（ドラム）のゲインを高くしてみてください。（→P. 26：「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」）
- 鳴らないほうのパッドのリジェクションの値を小さくしてみてください。（→P. 26：「TRIG6 リジェクションレベル」）
- 鳴らないほうのパッドの指定リジェクションレベルの値を小さくしてみてください。（→P. 26：「TRIG7 指定リジェクションレベル」）
- 両方のパッドのオルタネイトグループが同じに設定されていませんか？（→P. 22：「KIT10 オルタネイトグループ」）

大きな音しか鳴らない

- ミニマムベロシティの最小値が大きすぎませんか？（→P. 26：「TRIG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」）
- ベロシティカーブは適切ですか？（→P. 26：「TRIG4 ベロシティカーブ」）
- ヤマハ以外のパッドを使用していませんか？メーカーによっては出力が大きいものがあります。

DTXPLOERがすべてのスイッチやトリガー入力を受け付けなくなった

- ユーティリティモードが使える場合は、ファクトリーセットを行なってください。初期状態に戻ります。（→P. 23：「UTIL6 ファクトリーセット」）
- [◀]と[▶]を同時に押しながら電源スイッチ(Power)を入れ直してください。初期状態に戻ります。

音が鳴りやまない

- MIDIキーオン/オフの画面（→P. 22：「KIT11 MIDIキーオン/オフ」）で“norm”を設定すると、音色によっては極端に長いものがあります。一時的に音を消すには、[DRUM KIT]を押します。

ハイハットクローズ音が鳴らない

- パッドタイプは適切ですか？ハイハットコントローラーとしてRHH130やRHH135をお使いの場合、パッドタイプを“RHH”に設定する必要があります。（→P. 25：「TRIG2 パッドタイプ」）

別売の3ゾーンパッドをDTXPLOERに接続しパッドを叩いても音が出ないことがある

- DTXPLOERではトリガー入力端子“1 SNARE”に接続した場合にのみ、3つのゾーンにそれぞれ別々の音色を設定して鳴らせます。それ以外のトリガー入力端子に接続した場合は、1つまたは2つのゾーンに設定した音色しか鳴らすことができません。たとえば、トリガー入力端子7 HI-HATはモノラルパッドにのみ対応しておりますので、別売のハイハットパッドRHH130/135を接続しても、エッジ部の音は鳴りません。詳しくは、パッドに付属の取扱説明書をご覧ください。

別売のパッドコントロール機能付きパッドを接続しても、パッドコントロール機能が使えない/正しく動作しない

- DTXPLOERはパッドコントロール機能に対応していません。

仕様

■ 発音方式

16-bit AWM2

■ 最大同時発音数

32音

■ 音色数

ドラム/パーカッション音色	192種類
ドラムキット	プリセットキット 32種類 ユーザーキット 10種類
トリガーセットアップ	プリセット 4種類 ユーザー 1種類

■ シーケンサー

トラック数	1
その他の機能	ミュート(リズム) ベースソロ グループチェック

■ ソング

プリセットソング	22種類(デモソング：2、 パターンソング：20)
----------	------------------------------

■ 操作子

ボタン： DRUMKIT, CLICK, SONG ▶/■, SHIFT, ◀,
▶, 🗑️ ON/OFF, SAVE/ENT
コントローラー： VOLUME, ジョグダイヤル

■ ディスプレイ

16X2 LCDディスプレイ(バックライト付)

■ 接続端子

MIDI OUT端子
HI HAT CONTROLLER端子(ステレオ標準ジャック)
OUTPUT L/MONO, R端子(モノラル標準ジャック)
PHONES端子(ステレオ標準ジャック)
AUX IN端子(ステレオミニジャック)
トリガー入力端子 1, 5, 6
(ステレオ標準ジャックL：トリガー入力, R：リムスイッチ入力)
トリガー入力端子 2, 3, 4, 7
(モノラル標準ジャック：トリガー入力)
トリガー入力端子 8/9
(ステレオ標準ジャックL, R：トリガー入力)

■ 電源電圧

DC12V：電源アダプター(PA-3C)

■ 消費電力

3.2W

■ 寸法

252(W)X140(D)X54(H) mm

■ 重量

835g

■ 付属品

取扱説明書
保証書
電源アダプター

* 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

MIDIデータフォーマット

1 チャンネルメッセージ

以下のチャンネルメッセージは、ドラムトリガー機能のみから送信可能である。
シーケンサー機能においては、その他のメッセージも送信される。

1.1 キーオン/キーオフ

ノート範囲：0-(C-2) - 127(G8) (10chのみ)
ベロシティ範囲：1 - 127(ノートオンのみ)

1.2 コントロールチェンジ

4 - foot controller (10chのみ)

1.3 プログラムチェンジ(10chのみ)

2. システムエクスクルーシブメッセージ

2.1 パラメーターチェンジ

2.1.1 GM system ON

\$FO \$7E \$7F \$09 \$01 \$F7(16進数)
MIDI master tuningを除くすべてのデーターの設定値をデフォルトに戻す。

3 システムリアルタイムメッセージ

3.1 timing clock

送信する。

3.2 start, stop

送信する。

3.3 active sensing

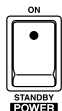
約300 msec以内の間隔で常にMIDI出力があるように送信する。

MIDI出力ノートナンバー

Input	楽器	Note Number	Input	楽器	Note Number
1	スネア	31	6	クラッシュ	49
1	スネアオープンリム	34	6	クラッシュエッジ	57
1	スネアクローズリム	37	7	ハイハットオープン	46
2	ハイタム	48	7	ハイハットクローズ	42
3	ミッドタム	47	7	ハイハットフットクローズ	44
4	ロータム	43	7	ハイハットフットスブラッシュ	85
5	ライド	51	8	キック	33
5	ライドエッジ	52	9	オブション	55

ディスプレイ一覧

オープニング画面



* DTXPLORER *
* Welcome! * (→P. 12)

↓

* DTXPLORER *
* 5hits * (→P. 12)

ソング選択



SONG J=120 ◀▶
1 : Demo1 (→P. 17)

ユーティリティ設定



UTIL1 Hi-hat
HHofs=-13 T= 0▶ (→P. 13)

↕

UTIL2 Click
◀OutSel=mix▶ (→P. 16)

↕

UTIL3 Song
◀ BassSolo=off▶ (→P. 18)

↕

UTIL4 MasterEQ
◀Lo=+ 6 Hi=+ 0▶ (→P. 13)

↕

UTIL5 MasterTune
◀ Tune=+ 0.0▶ (→P. 17)

↕

UTIL6
◀ Factory Set▶ (→P. 23)

ドラムキット設定



KIT1 ----- (→P. 12)
1 : Acoustic ▶

↕

KIT2 ☐snare (→P. 20)
◀K/001 Maple 22▶

↕

KIT3 ☐snare (→P. 21)
◀ Volume=127▶

↕

KIT4 ☐snare (→P. 21)
◀ Tune=+ 0.0▶

↕

KIT5 ☐snare (→P. 21)
◀ Pan= C▶

↕

KIT6 -ALL- (→P. 21)
◀RevType=hall1▶

↕

KIT7 ☐snare (→P. 22)
◀ RevLevel= 40▶

↕

KIT8 ☐snare (→P. 22)
◀ Decay= 0▶

↕

KIT9 ☐snare (→P. 22)
◀CutOffFreq= 0▶

↕

KIT10 ☐snare (→P. 22)
◀ AltGroup=off▶

↕

KIT11 ☐snare (→P. 22)
◀KeyOn/Off=norm▶

SAVE/ENT UTILITY

↓

KIT save to 33
Are you sure ? (→P. 23)

クリック設定



CLK1 0 400
1 :Beat=4 J=120 (→P. 14)

CLK2 Att=9 J=9
1 :v=0 :v2=0 :b=0 (→P. 15)

CLK3 MeasBreak
1 :Meas=- Brk=off (→P. 15)

CLK4 Sound
1 :Metronome (→P. 15)

CLK5 Sound=:v2
1 :E/002 Metron (→P. 15)

CLK6 Sound=:J
1 :Tune=- 3.0 (→P. 15)



CLK save to 1
Are you sure ? (→P. 16)

グループチェック機能



GRV1 ==I==
J=120 Gr=-1±1.5 (→P. 19)

GRV2 Parameter
1 :Input=snare (→P. 19)

GRV3 Parameter
1 :Note=I(4) (→P. 19)

GRV4 Parameter
1 :RhythmGate=off (→P. 19)

トリガーセットアップエディット



TRIG1
1 :Medium (→P. 24)

TRIG2 :snare 0%
1 :Type= TP1/SnrA (→P. 25)

TRIG3 :snare 0%
1 :Gain=70MV1= 10 (→P. 26)

TRIG4 :snare 0%
1 :VelCurve=norm (→P. 26)

TRIG5 :snare 0%
1 :SelfRejTime=1 (→P. 26)

TRIG6 :snare 0%
1 :Rejection=2 (→P. 26)

TRIG7 :snare 0%
1 :SPRej=4from= 7 (→P. 26)

TRIG8 :snare
1 :Copy to Input=1 (→P. 27)



TRIG save to 5
Are you sure ? (→P. 25)

タップテンポ機能



TAP TEMPO
J=120 (→P. 18)

Function ...	Transmitted	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 - 16 1 - 16	memorized
Mode Default Messages Altered	x x *****	
Note Number : True voice	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	o 9nH,v=1-127 x 9nH,v=0	
After Key's Touch Ch's	x x	
Pitch Bender	x	
Control Change 0,4,7,10,32 1,6,11,64 71,72,73 74,84,91 100,101	o x x x x x	
Prog Change : True #	o 0 - 127 *****	
System Exclusive	o	
System : Song Pos. : Song Sel. Common : Tune	x x x	
System :Clock Real Time :Commands	o o	
Aux :All Sound Off :Reset All Cntrls :Local ON/OFF :All Notes OFF Mes- :Active Sense sages:Reset	x x x x o x	

Mode 1 : OMNI ON, POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
x : No

ドラムボイスリスト

● ドラムボイスの分類

K : キック
S : スネア
T : タム
C : シンバル
H : ハイハット
P : パーカッション
E : 効果音

K : Kick

1 Maple 22
2 MapleVtg
3 MapleAmb
4 Beech 22
5 Birch 20
6 Birch 18
7 DryTight
8 AnalogBD
9 TechnoBD
10 ElecBD 1
11 ElecBD 2
12 ElecBD 3
13 HHopBD 1
14 HHopBD 2
15 HHopBD 3
16 HHopBD 4
17 SlapBass

S : Snare

1 Maple
2 Maple R
3 MapleVtg
4 MapleVtR
5 Rock
6 Rock R
7 Urban
8 Urban R
9 Steel
10 Steel R
11 Brass
12 Brass R
13 Groove
14 Groove R
15 Vintage

16 VintageR
17 Brush
18 Brush R
19 SnrOff
20 SnrOffR
21 CrStick1
22 CrStick2
23 AnaSnr 1
24 AnaSnr 2
25 TechSn 1
26 TechSn 2
27 ElecSn 1
28 ElecSn 2
29 HHopSn 1
30 HHopSn 2
31 HHopSn 3
32 HHopSn 4
33 HHopSn 5
34 HHopSn 6
35 HHopSn 7
36 HHopSn 8
37 HHopRim1
38 HHopRim2
39 HHopRim3
40 DrmnBass
41 SnrRoll*

T : Tom

1 Maple H
2 Maple M
3 Maple L
4 Urban H
5 Urban M
6 Urban L
7 Rock H
8 Rock M
9 Rock L
10 Jazz H
11 Jazz M
12 Jazz L
13 Analog H
14 Analog M
15 Analog L
16 Techno H
17 Techno M

18 Techno L
19 ElectroH
20 ElectroM
21 ElectroL
22 Electr2H
23 Electr2M
24 Electr2L

C : Cymbal

1 CrFast16
2 CrCust17
3 CrLite17
4 CrHevy18
5 CrFast14
6 RdCool
7 RdCoolCp
8 RdDry
9 RdDryCup
10 RdPower
11 RdPowrCp
12 RdSizzle
13 RdSizlCp
14 RdEdge
15 RdSizlEd
16 China 18
17 Splash 8
18 Trash
19 Gong
20 VFX Crsh
21 VFX Ride
22 CrAnalog
23 RdAnalog

H : Hi-Hat

1 HHOpen14
2 HHCIs14
3 HHFoot14
4 HHSpls14
5 HHOpen13
6 HHCIs13
7 HHFoot13
8 HHSpls13
9 HHDarkOp
10 HHDarkCl
11 HHDarkFt

12 HHDarkSp
13 HHOpen12
14 HHCIs12
15 HHFoot12
16 HHSpls12
17 AnalogOp
18 AnalogCl
19 TechnoOp
20 TechnoCl

P : Percussion

1 Agogo Hi
2 Agogo Lo
3 BellTree
4 Bongo Hi
5 Bongo Lo
6 Claves
7 Conga Hi
8 Conga Lo
9 CongaSlp
10 CongaH/S
11 Cowbell1
12 Cowbell2
13 Cowbell3
14 Cowbell4
15 DjembeSb
16 DjembeSl
17 DjembeEd
18 SWhistle
19 Shaker
20 SlelBell
21 StickHit
22 SurdoOpn
23 SurdoMut
24 SurdoM/O
25 TablaByn
26 TablaOpn
27 Tabla Hi
28 TablaMut
29 TablaNah
30 Tambrine
31 TimbalsH
32 TimbalsL
33 Triangle
34 TriangMt

35 TrianO/M
36 Udu Hi
37 Udu Lo
38 UduFingr
39 Udu Slap
40 WinChime
41 WoodBloc

E : Effect

1 ATR
2 MetBell
3 Metron
4 Noise
5 Pulse
6 Zap
7 HandClp1
8 HandClp2
9 RevrsCym
10 RevrsTom
11 Scratch1
12 Scratch2
13 Temple
14 BrassHit
15 StepHorn
16 DreamHt1
17 DreamHt2
18 A Yeah
19 Funky
20 OooWww
21 Sexy
22 YeahHaHa
23 LPLoop *
24 B Loop *
25 SmuthLp*
26 VinylLp*

* ループ音

プリセットキットリスト

No.	Name	No.	Name	No.	Name	No.	Name
1	Acoustic Kit	9	Mixed Voice	17	Deep Kit	25	Tabla Kit
2	Rock Kit	10	Mellow Club	18	Drum'n'Bass	26	Ethnic Kit
3	Studio Kit	11	Loop Session	19	All Round	27	Room Kit
4	HipHop/R&B	12	AcousticFunk	20	Power Beat	28	Reggae Kit
5	Vinyl Kit	13	World Kit	21	HornsGroove	29	Ballad Kit
6	Vintage Kit	14	Cool Hip	22	Electro Kit	30	Brush Kit
7	Break	15	Analog Kit	23	Jazz Kit	31	LatinPercs 1
8	Groove Kit	16	Techno Kit	24	Light Shot	32	LatinPercs 2

プリセットソングリスト

No.	Name	No.	Name	No.	Name	No.	Name
1	Demo 1	7	Shuffle	13	HipHop	19	Ballad
2	Demo 2	8	Funk 1	14	Pops 1	20	Samba
3	Rock 1	9	Funk 2	15	Pops 2	21	Bossa
4	Rock 2	10	Dance 1	16	Blues	22	Latin
5	Rock 3	11	Dance 2	17	Reggae		
6	HardRock	12	Soul	18	Jazz		

お客様相談窓口

ヤマハ管弦打楽器インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1 TEL. 053-411-4744

● 受付日 月曜日～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）

● 受付時間 10:00～18:00（土曜日は10:00～17:00）

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

◆ 営業窓口

国内営業本部 LM営業部 企画推進室 GD担当 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5445

ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

ヤマハマニュアルライブラリー <http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイークラブ <http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート&サービス <http://www.yamaha.co.jp/support/>

* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな？と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル

(全国共通番号)



0570-012-808

* 一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP 電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)

FAX 053-463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45 (浜松サービスステーションは 8:45～17:30)

(祝祭日および弊社休業日を除く)

* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543

札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

浜松サービスステーション

〒435-0016

浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内

FAX 053-462-9244

名古屋サービスセンター

〒454-0058

名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX 052-652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052

吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F

FAX 06-6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508

福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社 PA・DMI 事業部

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1